



国労東北自動車支部

第65回支部委員会開催

職場の問題解決急務

7月14日(月) 仙台市・青葉パークビル203号室において第65回自動車支部委員会を10時30分より開催しました。支部大会以降の取り組みや3月の北陸道の事故を受けてからの職場の状況など具体的に問題を掘り起し、どのように解決していくか真剣に議論し改めて頑張る決意を固めました。



働き続けられる

職場を！



お知らせ
8/1 青森支店の
岩崎宏さん職場
復帰します。

兜森副委員長の司会・議事進行で始まり、来賓の原子地本書記長より「便宜供与の関係で組合事務所が変わる予定で以前より組合員が来やすい状況になると思う。これまで家賃等かかっていたが解消され運動に使える金ができ、組織強化・拡大の運動が増々重要になってくる。自動車支部にもぜひ、お願いしたい。地本大会に向けすべての分会で報告できるように取り組みの強化を」と挨拶。続いて北山委員長より「役員だけの運動では限界がある。全体はどうするかを含め今委員会で議論をし、運動を全体で確認をしてい

責 宣部
編 教
NO.36
2014.7.26

国労加入
で職場を
変えよう

きたい。」と挨拶し、その後、経過報告および闘争方針(案)を一括提案し、昼食をはさんで質疑応答。その後、夏季ダイヤ改正交渉の反省から冬季ダイヤ改正に向け、62項目の要求根拠の確認と組織拡大行動の取り組み状況を議論しました。最後に6月22日、23日、日本青年会館で開催された東ブロック交流会の報告を受け終了しました。

第8回「組織強化・拡大」東ブロック交流会に参加して

兜森秀昭

参加して一番感じたのは今まで東京、大阪など都市部の組織拡大があったがその流れが地方に来ていて、盛岡地本でもどんどん拡大が続いていると感じた。特に青森支部でもかなりの拡大があり、八戸の駅で23歳のグリーンスタッフの女性の方が入ってその人も参加していた。秋田地本でも横手で社会人採用の女性の方が国労に入ってきている。大阪で38歳の契約社員が国労に入ってきたが、自分の扱われ方に何とか風穴を開けたいという熱い気持ちが伝わった。

私も6年前、同じような気持ちがあったが時間と共に段々弱くなってきたが、あう云う気持ちを聞いて初心に戻れたような気がする。仲間を増やせば会社も動かざるを得ない。頑張って一人でも多くの社員が国労に入るよう頑張りたいと思いつつながら帰ってきた。今、会社を辞めていく仲間がいるがその受け皿になれなかった私たちの弱さを感じている。組織拡大に向けみんなで頑張りたいと思う。

主な意見

- ・ 会社の都合で転勤させられているのに施設など用意していないのはおかしい。
- ・ 助勤に来てても旅費が安いいため赤字になっているのが実態だ。
- ・ X橋の扱いは問題ではないか。
- ・ 「帰省旅行援助金制度」は実態に即していない。使えない制度は制度ではない。

以上

第69回定期地方大会
9月28日(日)〜29日(月)
松島町・ホテル大観荘